

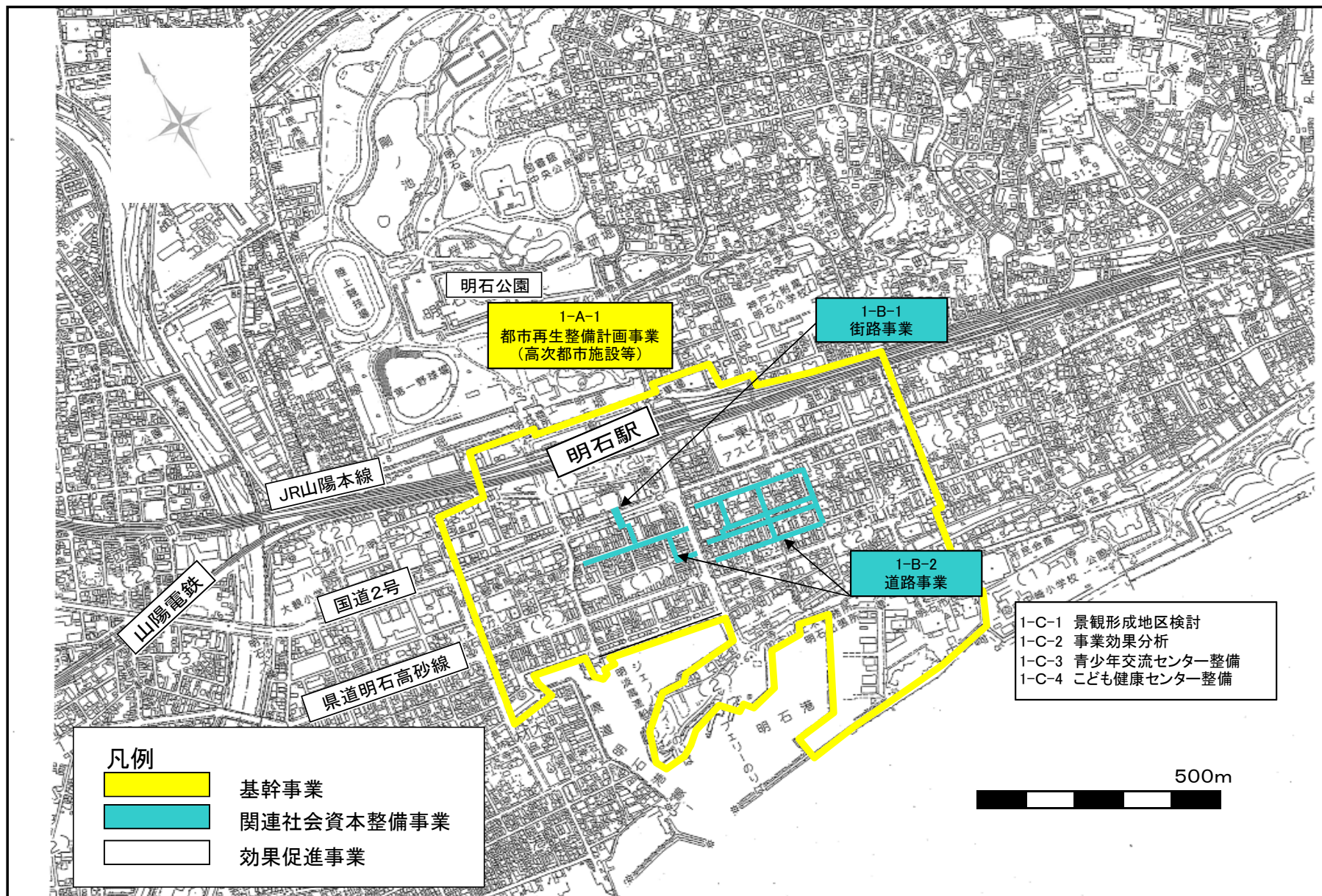
社会資本総合整備計画（第5回変更）

平成27年10月30日

計画の名称	1 明石市中心市街地のにぎわいの再生		計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		交付対象	明石市																													
計画の目標	<p>明石の中心市街地は、乗降客数が約10万人/日を有するJR・山電明石駅を中心に、都市活動の拠点となる都市の中心核として位置づけられている。しかし、平成10年の明石海峡大橋の開通による旅客船利用者の大幅な減少や、平成17年のダイエー明石店の撤退による大型施設の空き店舗化によって、中心市街地の回遊性の低下や都市の空洞化が進み、商業の販売額は年々減少し、賑わいも低下している状況にある。このような中、平成22年には「明石市中心市街地活性化基本計画」を策定し、行政、地元が一体となって様々な取り組みを計画している。その核事業である明石駅前南地区の市街地再開発事業などにより、中心市街地の活性化に寄与する回遊交流拠点として、明石らしさを演出した都市景観形成、公共施設整備、交通結節機能の強化、周辺地区をつなぐ賑わい回遊動線の整備など、中心市街地の再生を目指していく。</p>																																			
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅至近にある観光案内施設の1日あたりの平均利用者数を120人/日（H22）から160人/日（H27）に増加 ・国道2号南側調査地点における休日平日平均歩行者・自転車通行量（8時間）を20,120人/日（H22）から21,000人/日（H27）に増加 ・中心市街地の安全で快適な歩行者空間に満足している割合を18%（H22）から36%（H27）に増加 ・図書館の来館者数を1,022人/日（H22）から2,000人/日（H27）に増加 																																			
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・駅至近にある観光案内施設の年間利用者数を測定する。</td> <td>120人/日</td> <td>120人/日</td> <td>160人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・国道2号南側調査地点における休日平日平均歩行者・自転車通行量（8時間）を測定する。</td> <td>20,120人/日</td> <td>20,120人/日</td> <td>21,000人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中心市街地の安全で快適な歩行者空間に満足している割合を測定する。</td> <td>18%</td> <td>18%</td> <td>36%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・図書館の1日あたりの来館者数を測定する。</td> <td>1,022人/日</td> <td>1,022人/日</td> <td>2,000人/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	・駅至近にある観光案内施設の年間利用者数を測定する。	120人/日	120人/日	160人/日		・国道2号南側調査地点における休日平日平均歩行者・自転車通行量（8時間）を測定する。	20,120人/日	20,120人/日	21,000人/年		・中心市街地の安全で快適な歩行者空間に満足している割合を測定する。	18%	18%	36%		・図書館の1日あたりの来館者数を測定する。	1,022人/日	1,022人/日	2,000人/日	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																																	
・駅至近にある観光案内施設の年間利用者数を測定する。	120人/日	120人/日	160人/日																																	
・国道2号南側調査地点における休日平日平均歩行者・自転車通行量（8時間）を測定する。	20,120人/日	20,120人/日	21,000人/年																																	
・中心市街地の安全で快適な歩行者空間に満足している割合を測定する。	18%	18%	36%																																	
・図書館の1日あたりの来館者数を測定する。	1,022人/日	1,022人/日	2,000人/日																																	
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,264百万円	A	5,606百万円 <small>うち提案事業1百万円</small>	B	379百万円	C	1,279百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	17.7%																										
交付対象事業																																				
A1 基幹事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																					
1-A-1	都市再生	一般	明石市	直接	明石市	都市再生整備計画事業（明石市中心市街地地区）	都市再生整備計画 60ha	明石市	H23	H24	H25	H26	H27	5,606																						
									合計					5,606																						
B 関連社会資本整備事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																					
1-B-1	街路	一般	明石市	直接	明石市	国道2号立体横断歩行者道路整備	L=約50m	明石市						227																						
1-B-2	道路	一般	明石市	直接	明石市	明石中央15号線ほか道路改良	L=約2400m	明石市						152																						
									合計					379																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																									
1-B-1	1-A-1と一体的に整備することにより、中心市街地全体への歩行者の回遊性向上が図られる。																																			
1-B-2	1-A-1と一体的に整備することにより、中心市街地の道路のバリアフリー化や排水性が向上し、歩行環境の改善が図られる。																																			
C 効果促進事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																					
1-C-1	調査検討	一般	明石市	直接	明石市	景観形成地区検討	景観形成地区指定や基準について検討	明石市						6																						
1-C-2	調査検討	一般	明石市	直接	明石市	事業効果分析	事業効果の調査分析	明石市						3																						
1-C-3	都市再生	一般	明石市	直接	明石市	青少年交流センター整備	再開発ビル内での青少年交流施設の整備	明石市						347																						
1-C-4	都市再生	一般	明石市	直接	明石市	こども健康センター整備	再開発ビル内でのこども健康施設の整備	明石市						923																						
									合計					1,279																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																									
1-C-1	1-A-1と一体的に実施することにより、中心市街地の景観形成に寄与する。																																			
1-C-2	1-A-1と一体的に実施することにより、事業効果の調査分析を行い、今後のまちづくりに活かすことが出来る。																																			
1-C-3	1-A-1と一体的に実施することにより、中心市街地への青少年を含む多世代の来街者が増え、賑わいの向上に寄与する。																																			
1-C-4	1-A-1と一体的に実施することにより、中心市街地への子育て世代の来街者が増え、賑わいの向上に寄与する。																																			

(参考図面)

計画の名称	1 明石市中心市街地のにぎわいの再生	交付対象	明石市
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		



【提出様式】

社会資本整備総合交付金の事前評価チェックシート

地方整備局名 近畿 都道府県名 兵庫県 市町村名 明石市 地区名 明石市中心市街地

チェック欄

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) ①.中心市街地活性化 2.防災 3.少子高齢化 4.人口定着 5.観光・交流 6.アメニティ 7.交通利便性 8.都市活力 9.地域コミュニティ 10.その他	✓
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) 1.市町村総合計画 2.都道府県長期計画 3.都市再生緊急整備地域 4.構造改革特別区域 5.地域再生計画 6.全国都市再生モデル調査 7.被災市街地 ⑧.中心市街地活性化計画 9.その他	✓
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	✓
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	✓

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	✓
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	✓
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	✓
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	✓
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	✓
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている	✓
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	✓

III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	✓
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	✓
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	✓
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	✓
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	✓
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	✓